

化学専攻〔博士前期課程〕の修了要件に係る所要科目及び必要単位数等(平成30年度入学者適用)

専攻の教育に必要とする内容					
		科目区分	科目群		単位
必修	基礎的な内容	基礎科目	数理工学物質科学研究科 共通	「数理工学物質科学コロキウム」 当該分野の「セミナー I A」	1
		専門基礎科目	化学専攻共通	本専攻の専門基礎科目	2
	専門的な内容	専門科目	化学専攻共通 無機・物理化学分野 有機化学分野 融合化学分野 物質・材料工学コース (ナノ材料化学分野) Nano Chemistry Course	「化学セミナー I」 本専攻の専門科目の各「特論」 当該分野の「セミナー I A」 当該分野の「セミナー I B」 当該分野の「セミナー II A」 当該分野の「セミナー II B」 当該分野の「特別研究 I A」 当該分野の「特別研究 I B」 当該分野の「特別研究 II A」 当該分野の「特別研究 II B」	1 2 1 1 1 1 3 3 3 3
自由	その他 基礎的または専門 的な内容	科目区分・科目群は問わない。		上記で修得した以外の化学専攻の科目 上記で修得した以外の数理工学物質科学研究 科共通科目群の科目 本研究科の他専攻の科目 他研究科の科目(要指導教員承認) 大学院共通科目(要指導教員承認)	
以上の合計 (学群の科目は不可)					8
合計単位数					30

<p>社会人特別選抜入学者(14条特例適用者)に係る履修上の注意</p> <p>大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。(大学院設置基準第14条)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「数理工学物質科学コロキウム」の単位は、指導教員が必要と認めた場合、本専攻の基礎科目(1単位)の単位に置き換えることができる。 ・本専攻の専門科目の「特論」の単位は、指導教員が必要と認めた場合、本研究科の社会人対象科目に置き換えることができる。
<p>早期修了者に係る履修上の注意</p> <p>在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、大学院に一年以上在学すれば足りるものとする。(大学院設置基準第16条ただし書きの適用)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた業績を上げたと認められた者は、所定の手続きにより認定を受けることによって、在学期間が2年未満でも修了することができる。 当該分野の「特別研究 II A」及び「特別研究 II B」(2年次対象)、当該分野の「セミナー II A」及び「セミナー II B」(2年次対象)の履修を早期に認める。
<p>外国人留学生に係る履修上の注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「数理工学物質科学コロキウム」の単位は、指導教員が必要と認めた場合、数理工学物質科学研究科共通科目群の「Science in Japan I」の単位に置き換えることができる。

<p>修了要件</p> <p>博士前期課程の修了要件は、大学院学則第41条第1項及び第2項に定めるところによるものとし、本研究科が専攻ごとに定めた所要科目を必要な単位数以上履修しなければならない。(数理工学物質科学研究科の教育に係る基本的な細則第10条抜粋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本専攻の定める基準に基づき合計30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること
---	---

(注)

1. 本表に掲げる単位数は、修了に必要な最小の数値を示す。
2. 原則として、同一授業科目名の単位を重複して修得することはできない。

(特記事項)

1. 平成24年度以前入学者については、当該入学年度の大学院便覧の修了要件における「特別実験 I」「特別実験 II」「セミナー I」「セミナー II」を、それぞれ「特別研究 I A及び特別研究 I B」「特別研究 II A及び特別研究 II B」「セミナー I A及びセミナー I B」「セミナー II A及びセミナー II B」に読み替えるものとする。